

会議録

会 議 名	令和4年度 第1回 目黒区廃棄物減量等推進審議会家庭系専門部会
日 時	令和4年8月8日（月）午後1時30分～午後3時
会 場	目黒区総合庁舎地下1階第19会議室
出席委員 （敬称略）	安井、平尾、坂本、斎藤、日比野（計5名）
区側職員	橋本環境清掃部長、神清掃リサイクル課長、金元環境保全課長、細野清掃事務所長
傍聴者	1名
配付資料	<p>専門部会委員名簿</p> <p>資料1 清掃・リサイクル分野を取り巻く状況の整理</p> <p>資料2 目黒区基本計画（抜粋）</p> <p>資料3 現行計画の進捗状況及び評価</p> <p>資料4 目黒区一般廃棄物処理基本計画改定に向けた基礎調査報告書（速報版）</p> <p>資料5 2100年を視野に入れた快適で誇りのもてる循環型のまち ～めぐろへの提言～（平成27年6月答申）</p>
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>委員8名中、出席者は5名で定足数（4名）を満たし、会は成立した。</p> <p>目黒区廃棄物減量等推進審議会条例施行規則第4条第3項により、部会長、副部会長の互選を行い、部会長は安井委員、副部会長は平尾委員となった。</p> <p>2 議 事</p> <p>目黒区一般廃棄物処理基本計画改定の方向性について</p> <p>○区 （資料1～5の説明） （数値目標の設定）</p> <p>○委員 資料3では令和3年度の1人1日当たりのごみ量は522gとなっている。一方、資料4の家庭ごみ計量調査（以下「計量調査」という。）による排出原単位は347gである。どのような違いなのか。</p> <p>○区 資料4のごみ量は燃やすごみの排出原単位であり、資料3のごみ量522gには燃やさないごみ、粗大ごみ、区収集の事業系一般廃棄物も含まれている。</p> <p>○副部会長 収集車のごみを搬入した場所で計量した重量を人口で割ったものが522gで、その中の一般家庭から出ている燃やすごみが347gでよいか。</p> <p>○区 副部会長のご認識のとおり。</p> <p>○委員 区の目標としては、522gから減量したいということによいか。</p> <p>○区 委員ご指摘のとおり。</p> <p>○副部会長 目標とする数値の考え方は、一番大事なところである。令和2年度で増加したのは、燃やすごみが増えたのか粗大ごみが増えたのかは分かるか。</p> <p>○区 粗大ごみも増えているが、燃やすごみの増加の方が影響は大きい。</p> <p>○副部会長 燃やすごみの減量が重要ということになる。</p>

(計量調査方法)

- 委員 計量調査の対象世帯数について、単身者世帯が他の世帯よりも少ない。調査数が均一となっていないのは何故か。
- 区 計量調査は地域を選び、ポスティングをしてご協力をお願いしている。目黒区は若い単身者のご協力いただける割合が他自治体より少なかった。単身世帯のごみは、若い世帯と高齢世帯で変わる。高齢者の単身世帯は生ごみが、若い単身世帯はプラスチックごみが多い傾向がある。重さでいえば単身高齢者のごみは重く、単身若年者のごみは軽い。
- 委員 他自治体の原単位調査で1人当たりの原単位が1,000g/人日以上など突出して多い場合があった。今回の調査でもそのようなことはあるか。
- 区 家の大掃除や庭木の剪定を行った場合などに量が増えることがある。平均で350g位だが、世帯によっては1,000gを超えることもある。重量の分布は把握している。

(リサイクル率)

- 委員 現行計画に掲げている目標は、今でも有効なのか。
- 区 現行計画は令和7年度までの計画となる。
- 委員 目黒区基本計画での目標であるリサイクル率を上げることについて、東京都の場合は23区と多摩で現状が全く違うが、目黒区はどのように設定しているのか。
- 区 目黒区が掲げた目標であるリサイクル率40%はかなり大胆な数値だが、世界的に見て日本のリサイクル率は低いということと、東京都が2030年までに37%という目標を設定しており、目黒区のゴールは東京都より先の年次なので、東京都より高めの数値とした。
- 委員 東京都はどのような算定で目標設定しているのか。
- 部会長 過去に東京都の審議会に出席していたが、全体像を把握することは難しく、目標数値も綿密な計算のもとで設定したものではないと想像する。

(ごみの減量手法)

- 委員 生ごみをバイオガス化するなどごみを燃やさない方法を模索することはできないか。
- 委員 多摩地区は区部より明らかにリサイクル率が高い。学べるところがあるのではないか。
- 委員 最終処分場もひっ迫している。もともとのごみを減らす必要がある。
- 副部会長 まず分別が大切である。今回の調査でも分別すれば資源になるものが28%ある。食生活の変化もあり、前回調査と比較して燃やすごみに混入している容器包装プラスチックが8.4%から12%に増えている。汚れているプラスチックは燃やすごみに出す生活パターンとなっている。まずは分別をすれば目標を達成できるのではないか。ただ現実問題として、小さな紙ごみ等をきちんと分別するのは難しい。
- 委員 自分ではかなり厳しく実行しているつもりだが、あまり減らない。段ボールコンポストも取り入れたが、難しかった。やはり、みんなの意識改革が

	<p>必要なのではないか。</p> <p>○副部会長 新しい計画の目標にどういう形で、どのような意識改革を入れていくか判断していくことになる。</p> <p>○委員 目黒はこれまで先進的なことを行ってきた。世界的には生ごみのリサイクルはどのような状況なのか。</p> <p>○副部会長 日本は焼却工場を大量に作ることでごみ処理に対応してきた。ヨーロッパは生ごみをコンポストで肥料や飼料などにしてきたため、生ごみにプラスチック等を混ぜないためリサイクル率が上がる。</p> <p>日本でも地方にはリサイクル率 70%という市町村があるが、目黒区で同様にできるわけではない。目黒区の特性に合わせて考えなくてはならない。</p> <p>○委員 目黒区の状況に近い都市で成果を上げている所について、調査する必要があるのではないか。</p> <p>○副部会長 多摩地区などはだいぶ有料化が進んでいる。ごみ袋有料化は大変大きな問題である。有料化するとごみは確実に減る。</p> <p>○委員 有料化できないと思っているとできない。レジ袋有料化と同様に行えばよいのではないか。当たり前と思うことを変えていくことが必要である。</p> <p>(食品ロス)</p> <p>○区 食品ロスについてもご議論いただきたい。家庭ごみの組成分析調査では、燃やすごみの6.8%は全く手が付けられていない食品の直接廃棄である。</p> <p>○委員 直接廃棄になるような食品は、フードバンクに寄付できるとよい。</p> <p>○区 目黒区内でもエコライフめぐろ推進協会などに常設窓口があるので利用してほしい。</p> <p>○委員 もったいないという感覚がなくなっている。</p> <p>○委員 「もったいない運動」ができないか。</p> <p>○副部会長 計量調査で調査した世帯別に排出されるごみの傾向は分かるか。</p> <p>○区 プライバシーの問題があり、計量調査のごみを組成分析することはできないので感覚的な推測となるが、若い単身者の方がごみの分別が悪いと考えられる。</p> <p>○委員 世代関係なく賞味期限・消費期限に非常に厳しい人がいる。</p> <p>○副部会長 食品ロスに関して、答申にどのように盛り込んでいくか。めぐろ買い物ルールでは、無駄なものは買わないと以前から提唱してきたということもある。</p> <p>○委員 コロナ禍や災害対策のために備蓄が推奨されていて、その備蓄が賞味期限切れを迎えてしまうということもあるのではないか。</p> <p>○部会長 確かに地震がいつ来るか分からない国なので、備えは必要である。</p> <p>(製品プラスチック回収)</p> <p>○副部会長 世界や国では、プラスチックと食品ロスは大きな課題である。製品プラスチック回収については、議論していく予定なのか。</p> <p>○区 製品プラスチック回収については、区でも検討を進めている。国の制度</p>
--	---

	<p>上、製品プラスチックを資源回収しないと、清掃工場に関連する交付金が交付されなくなるという問題があり、令和 13 年度までに特別区全体で考えていかなくてはいけない。答申に製品プラスチックについても記載することは可能である。開始時期についてはまだ正式に公表はできない。</p> <p>○副部長 今回の組成分析調査を見ても製品プラスチックに限らず、プラスチック全体について議論が必要と考える。</p> <p>○委員 製品プラスチックがサーマルリサイクルにならないかと懸念している。実施するのが難しいだけに、しっかり対策しなくてはならない。</p> <p>(水銀を含む製品)</p> <p>○副部長 前回の提言で水銀ごみについて書かれていたが、現在の状況についてお聞きしたい。</p> <p>○区 現在月 1 回の回収となっていて、ほとんど適正に排出されている。違反があった場合は注意書きを貼って対応している。</p> <p>○委員 引っ越しなどで住民の入れ替わりがあるので、何回かに 1 回くらい指導を徹底しないと、分別の意識は薄れていく。</p> <p>(リチウムイオン電池)</p> <p>○副部長 その他にリチウムイオン電池が問題となっていると聞いている。</p> <p>○区 清掃車火災のほか、清掃工場やリサイクル工場でリチウムイオン電池の発火が起きている。</p> <p>○副部長 プラスチックの中にリチウムイオン電池が内蔵されている製品がある。独立した提言となるか分からないが、今後、危険物として考えていかなくてはならないのではないかと。捨て方が分からないものが多い。</p> <p>○区 リチウムイオン電池を回収する販売店など案内をしているが、知らずにごみとして廃棄している区民もいる。</p> <p>○副部長 電池は種類によって廃棄方法が異なり難しい。リチウムイオン電池、ボタン電池はリサイクルの問題も含めて、水銀に代わり問題になっていくのではないかと。</p> <p>○委員 分別が難しいものがある。間違っている場合、回収せずに残してくれると分かりやすい。</p> <p>○区 排出指導は行っているが、あまり厳しくすると苦情が多くなる。</p> <p>○委員 集積所によっては、狭いところもあり、分別を誤っているごみが車の通行を阻んでいるケースも見受けられる。</p> <p>(集積所)</p> <p>○副部長 町内会的な仕組が働かなくなっている。集積所の管理についても対応が必要である。</p> <p>○委員 常に細かく周知するということが重要である。</p> <p>○副部長 最近では集積所利用ではなく、戸別にごみを出している地域が散見される。</p> <p>○区 区では戸別収集はしていない。高齢者・障害者でごみ出しが困難な場合のみ対応している。区で登録している戸別収集は 500 件程度である。</p> <p>○副部長 登録している住戸とは思えないが、戸別収集しているのではないかと。</p>
--	---

	<p>○委員 新しい住民は、既存のコミュニティに入りづらく戸別に出す場合もあるのではないか。</p> <p>○副会長 目黒区の地域性に合わせた対応が必要である。</p> <p>○部会長 地域の課題を幅広く集めていく必要があるかもしれない。</p> <p>(他区の動向)</p> <p>○委員 渋谷区では7月からプラスチック回収を開始したようだが、どのような方法で行っているのか。</p> <p>○区 渋谷区では製品プラスチックと容器包装プラスチックを分別せず一括回収し、委託業者が分別を行っている。製品プラスチックのリサイクルについて詳細は不明だが、特別に難しいこととは考えていない。目黒区でも製品プラスチックのリサイクルは可能と考える。</p> <p>3 閉 会</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
--	--